

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が落下するおそれがあります。

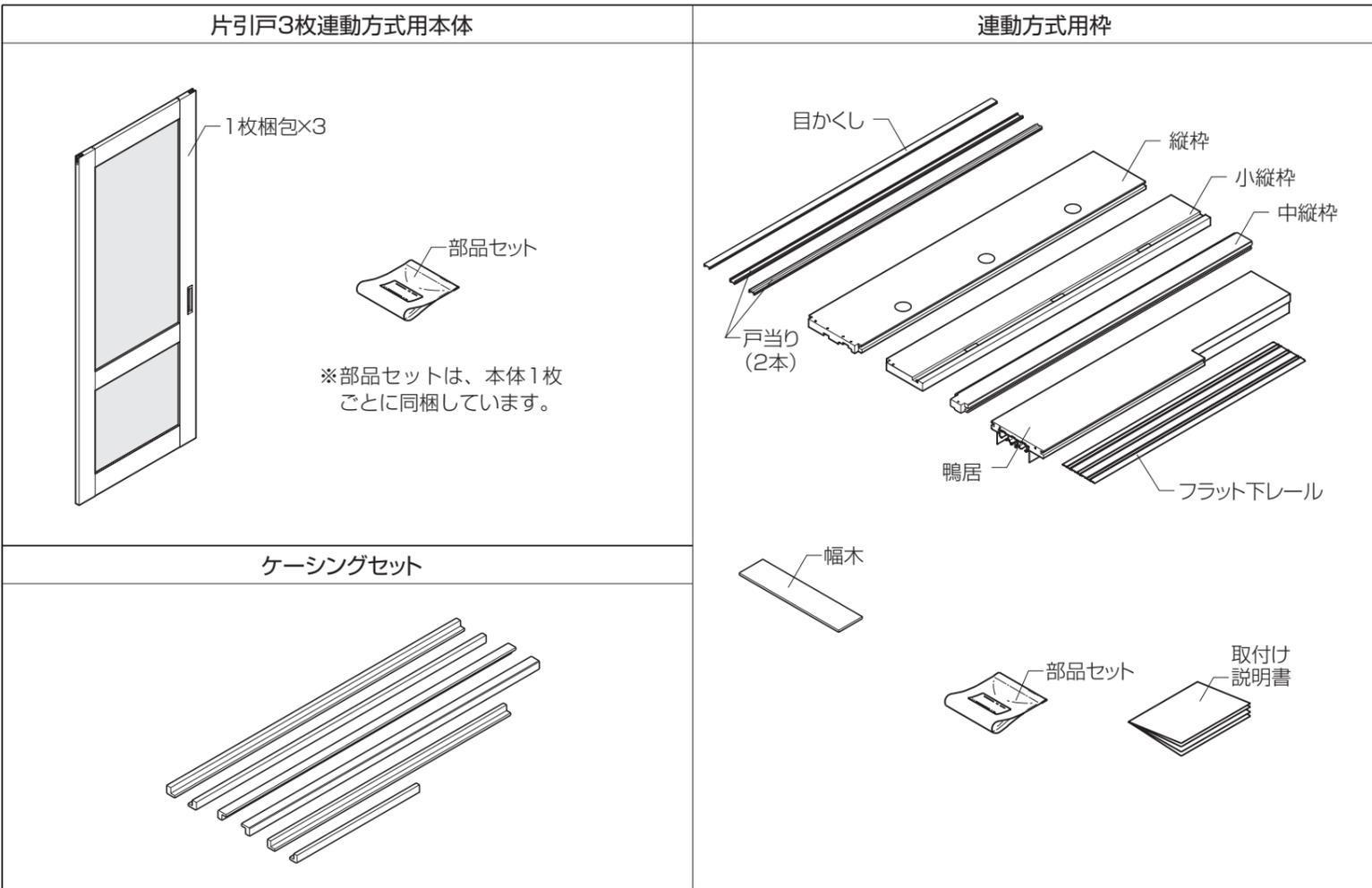
### ■取付け上のおお願い

- 本製品は、壁厚（186～208mm）に取付けられます。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付けるときは、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。かい木を使用する場合、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさの間には、必ずすき間をつくって納めてください。
- 縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整して柱と当てて、内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合は、かい木を入れてください。
- 上枠とまぐさのすき間は必ずかい木を入れてください。
- かい木には合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をしてください。
- 本製品は上吊方式を採用しています。梁（まぐさ）は、強度を要するため、必ず本体重量に耐える断面寸法（右記表）を使用してください。上枠の垂下がりの原因になります。梁（まぐさ）が軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いため直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けてください。
- 本体にガムテープ・クラフトテープなどの粘着力の強いものを直接張らないでください。養生の際は、マスキングテープなど粘着力の弱いものを使用してください。

| 間口  | 本体重量  | 梁(まぐさ)の断面寸法(幅×高さ) |
|-----|-------|-------------------|
| 12尺 | 100kg | 105mm×360mm以上     |

## ■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品です。



## ■枠セット明細

| 部材名称  |          | 入数 |
|-------|----------|----|
| 枠     | 鴨居       | 1  |
|       | 縦枠       | 1  |
|       | 中縦枠      | 1  |
|       | 小縦枠      | 1  |
|       | フラット下レール | 1  |
|       | 幅木       | 1  |
|       | 戸当り      | 2  |
|       | 目かくし     | 1  |
| 部品セット |          | 1  |

## ■部品セット明細

### □本体部品セット

| 部品名称    | 入数 |
|---------|----|
| ガイドピボット | 2  |

### □枠部品セット

※予備用4本含む

| 部品名称                     | 入数  |
|--------------------------|-----|
| 組立て用皿小ねじM4×50            | 4   |
| 鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50     | ※17 |
| 縦枠取付け用ナベタッピンねじφ4×40      | 6   |
| 吊車                       | 6   |
| フラット下レール取付け用皿タッピンねじφ4×30 | 22  |

## ■開口部の作り方

### ■開口部寸法の出し方

開口A寸法=製品寸法(W)+5mm

開口B寸法=製品寸法(H)+5mm

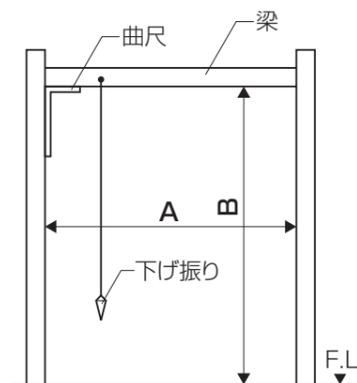
※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

※本製品は、上吊方式を採用しています。

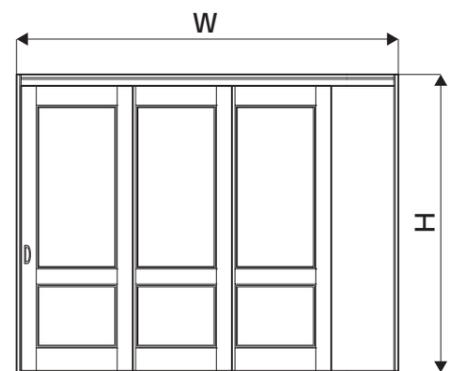
梁(まぐさ)は、強度を要するため、必ず本体重量に耐える断面寸法(下記表)を使用してください。

| 間口  | 本体重量  | 梁(まぐさ)の断面寸法(幅×高さ) |
|-----|-------|-------------------|
| 12尺 | 100kg | 105mm×360mm以上     |

### ■開口寸法



### ■製品寸法



## ■取付け順序

### 1 床の張り方

※取付け詳細を参照してください。

## ■取付け詳細

### 1 床の張り方

①製品寸法から開口寸法を算出し、開口部を作成します。

②納まり図を参考にフラット下レール取付け位置を決めます。

※フラット下レール取付け部の幅より広い補強材が入っていることを確認してください。

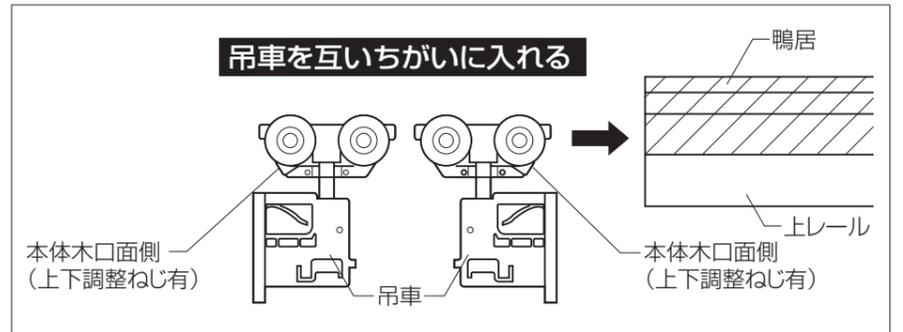
③床を施工します。

※本製品は床先張り(枠後付け)専用です。枠の取付け前に床を張ってください。

## 2 枠の組立て

## 2 枠の組立て

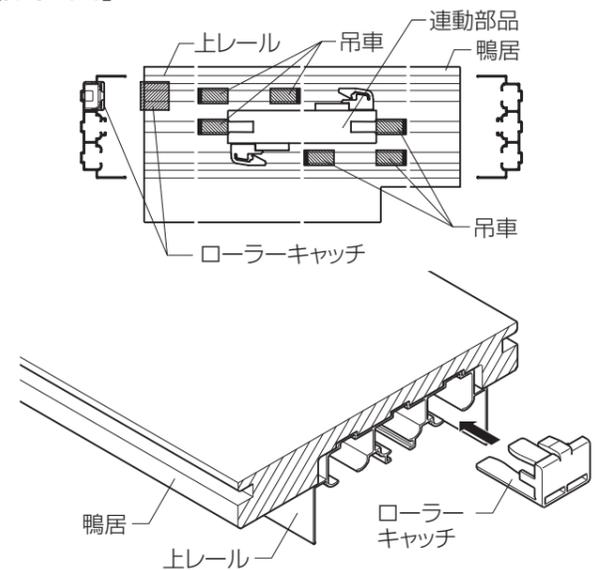
- ①吊車を互いちがいの向きにして上レールに入れてください。



### お願い

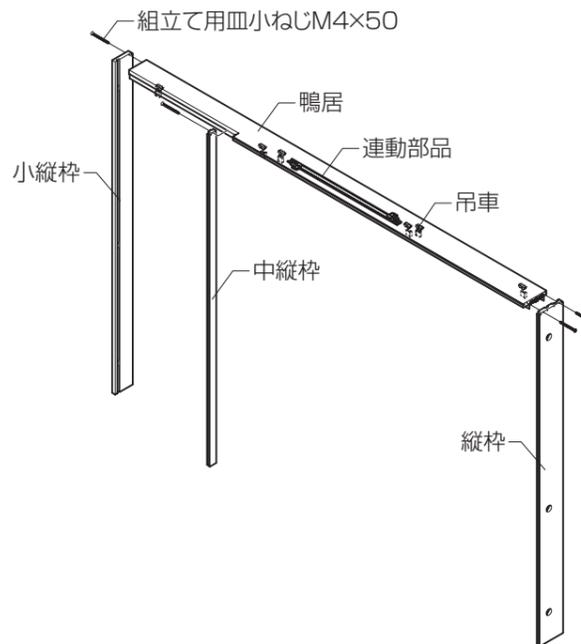
- ※上レールの本体取付け個所に吊車を入れてください。

### 【配置図】 (片引戸3枚建)

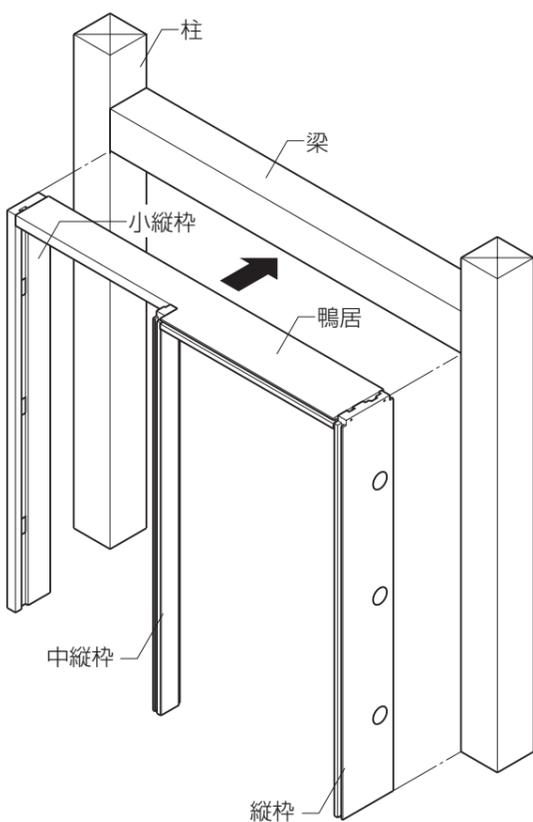


- ※ローラーキャッチは取外してから吊車を入れてください。  
 ※吊車取付け後、取外してあるローラーキャッチを元の位置に必ず取付けてください。  
 ※枠組立て前に鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

## ■片引戸3枚建

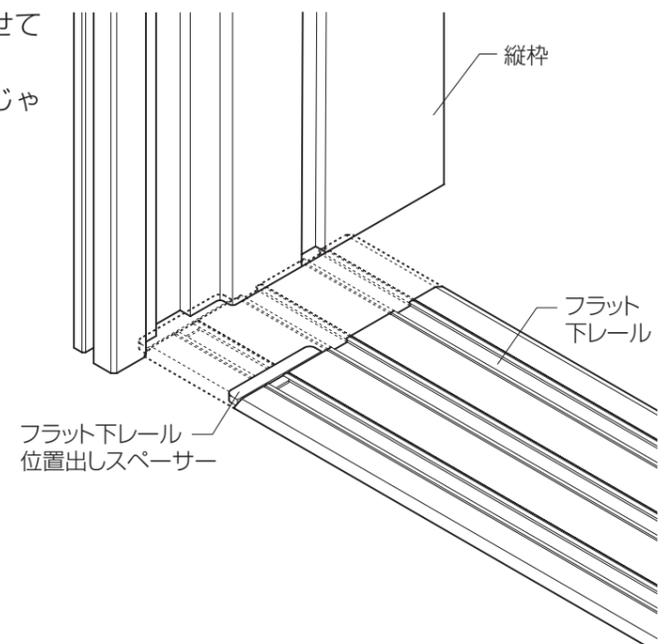


## 3 枠の取付け

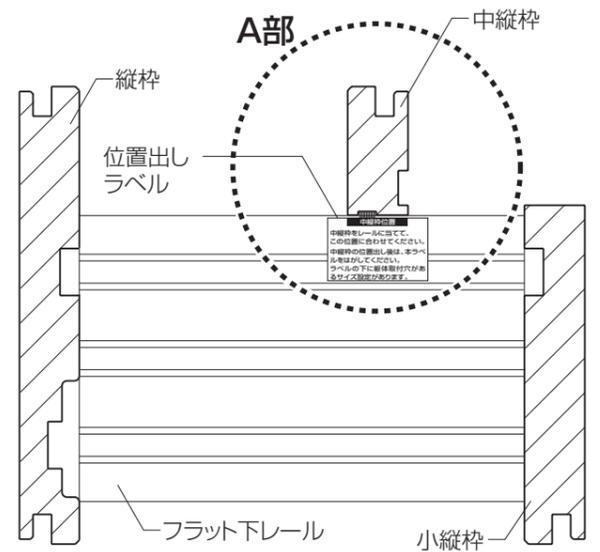
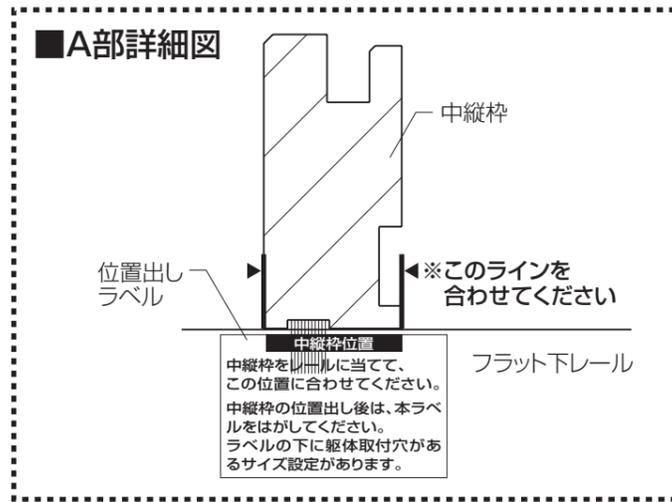


## 3 枠の取付け

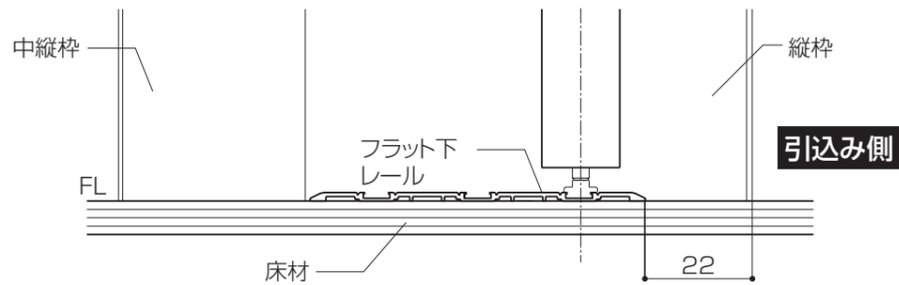
- ①枠を開口部に入れて、縦枠センターと柱芯を合わせてください。  
 ②フラット下レール位置出しスペーサーを縦枠の戸じゃくり部にセットし、位置出ししてください。



③中縦枠の位置出しは、フラット下レールの位置出しラベルに合わせて取付けてください。



※フラット下レールの位置出しは引込み側に22mmあけて仮置きしてください。

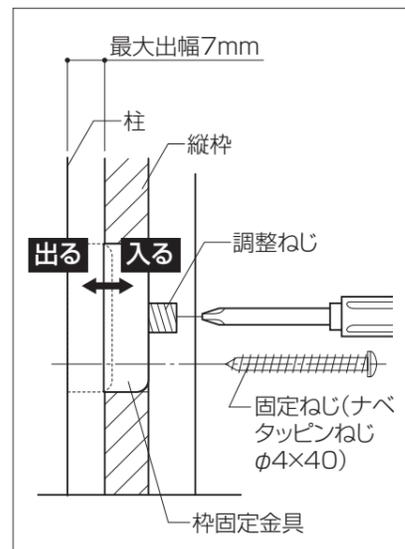
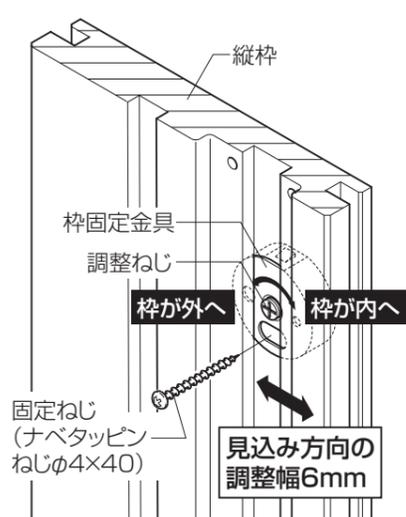


- ④縦枠に取付けられている枠固定金具（縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。
- ⑤枠の垂直を確認してください。
- ⑥固定ねじ（ナベタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長穴中央部分より締付けてください。
- ⑦枠の奥行方向のたおれを確認してください。たおれている場合は固定ねじをゆるめ、枠を動かします。（奥行方向の調整幅は6mmです）調整後ねじを固定してください。
- ⑧枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取付いている部分の開口寸法が均等になるように調整してください。
- ⑨再度、枠の垂直を確認してください。

●お願い

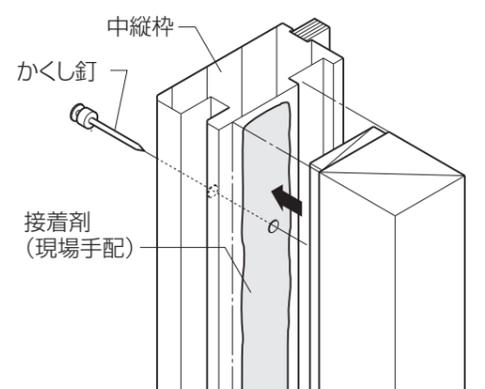
- ※建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。
- ※枠固定金具の調整には電動ドライバーは使用しないでください。
- ※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

■縦枠・小縦枠



■中縦枠

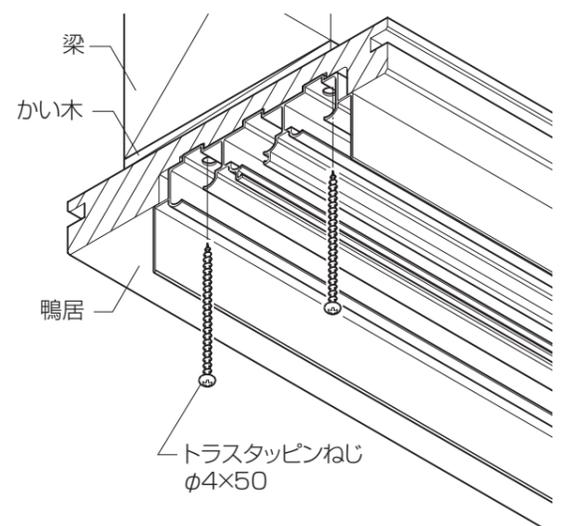
※裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



- ⑩鴨居はかい木を入れて、水平になるように調整したあと、上レールの穴からトラスタッピンねじφ4×50で躯体に固定してください。
- ※縦枠の固定個所を増やしたい場合は、予備の上枠取付け用ねじ（トラスタッピンねじφ4×50）で固定してください。

●お願い

- ※鴨居の躯体固定ねじを締込みすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体を吊込んだときに動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

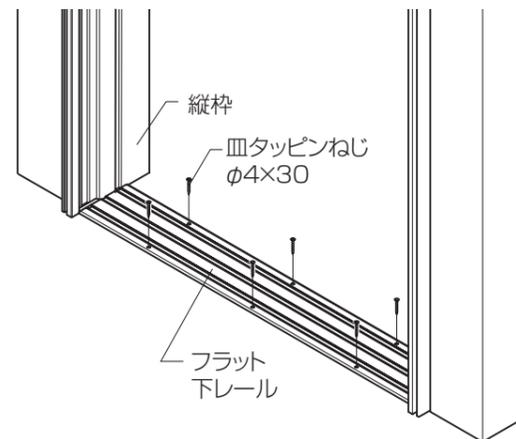


⑪フラット下レールの取付け

フラット下レールをねじ（皿タッピンねじφ4×30）で固定します。（手順②のフラット下レール位置出しスペーサーの位置を確認してからねじ止めしてください。フラット下レールの浮き上がりや本体開閉不具合の原因となります。）

**お願い**

※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



**お願い**

※フラット下レールを固定する床（下地）は段差やすき間がないように仕上げしてからレールを平らな面に固定してください。

■戸当り

⑫戸当りに接着剤（現場手配）をつけて縦枠に取付けます。

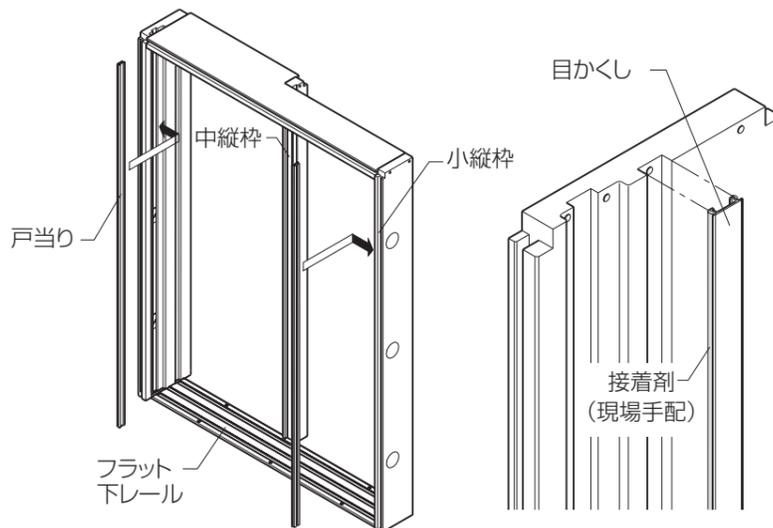
※戸当りは下レール取付け後に取付けてください。

※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。

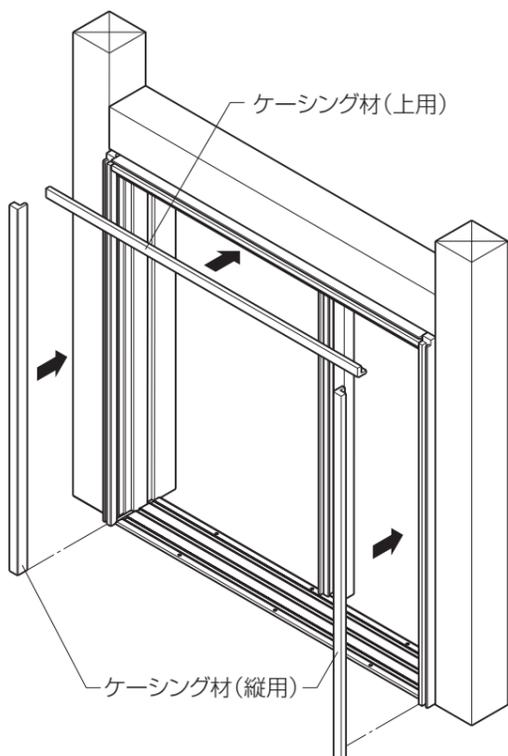
※戸当りの接着は必ず枠の建付け完了後に行ってください。

■目かくし

⑬縦枠中央の溝に目かくしを戸当りと同様に接着剤（現場手配）で取付けてください。



4 ケーシング材の取付け



4 ケーシング材の取付け

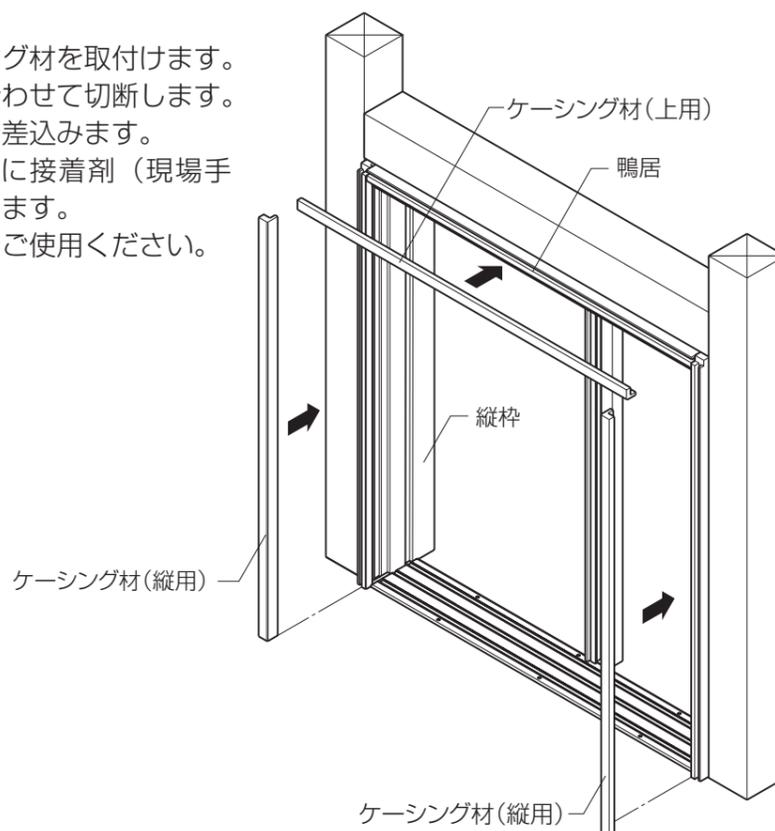
※壁材・床材を仕上げた後、ケーシング材を取付けます。

①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。

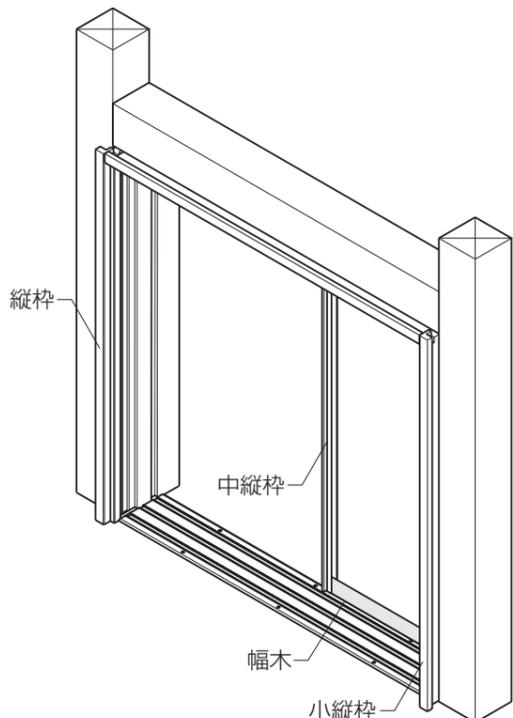
②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。

③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤（現場手配）を塗布し、ケーシングを固定します。

※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。

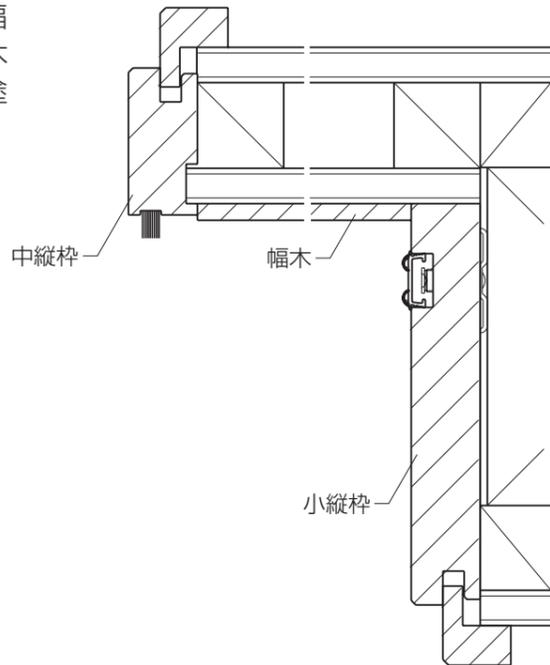


## 5 幅木の取付け

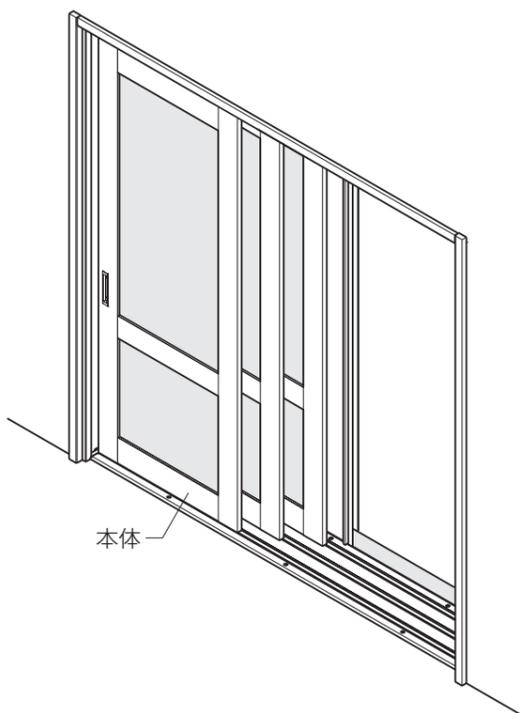


## 5 幅木の取付け

※小壁のボードとフラット下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤（現場手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200～300mmです。

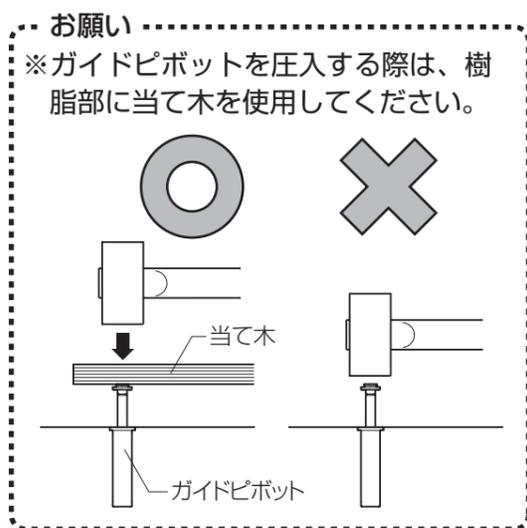


## 6 本体の吊込み

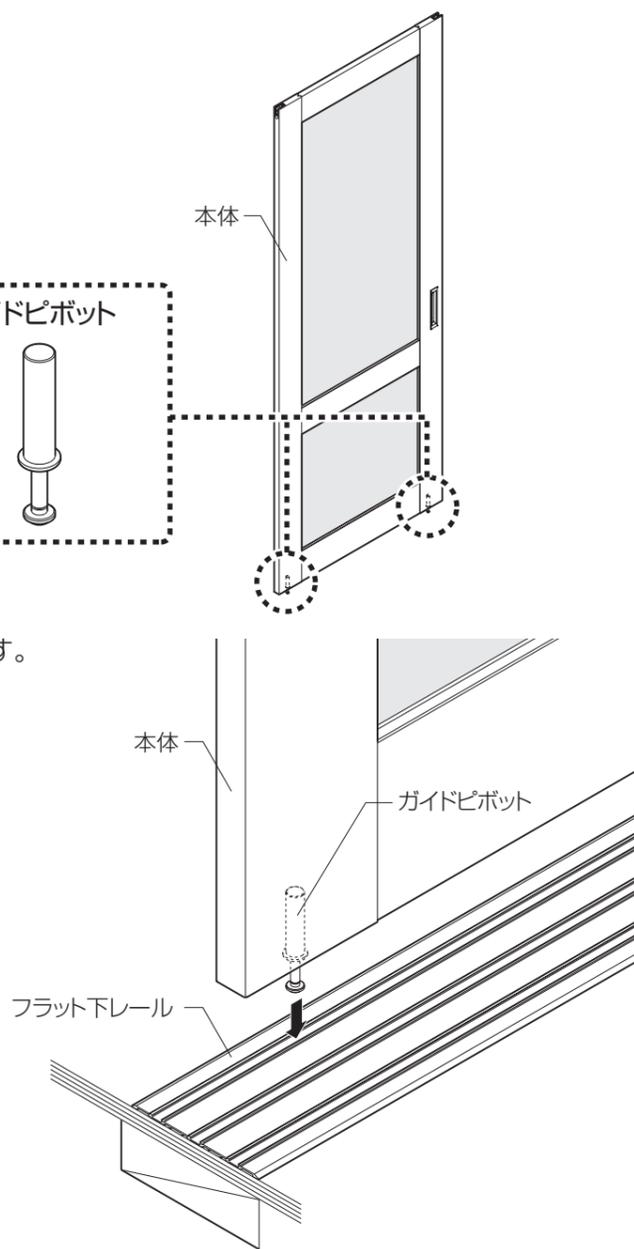
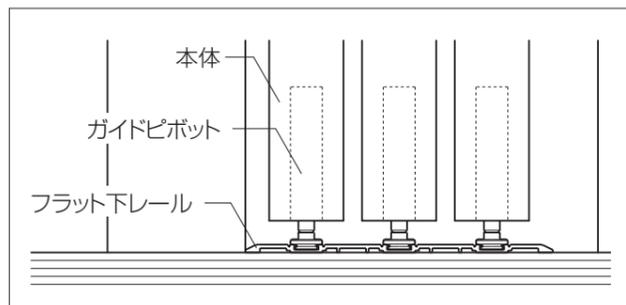


## 6 本体の吊込み

①本体下端の加工穴にガイドピボットを圧入します。



②ガイドピボットをフラット下レールへ落とし込みます。

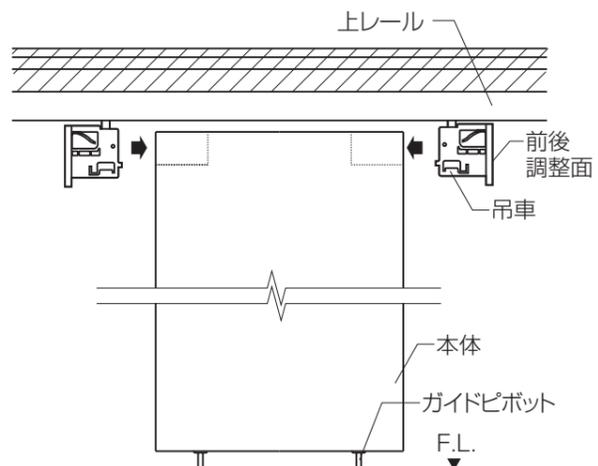


③片側ずつ吊車を本体に**水平に押し込む**と、ワンタッチで取付けられます。吊車の前後調整面が外側になるようにして取付けます。

※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。

### ▲注意

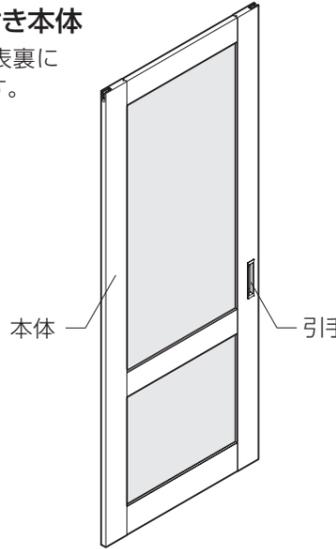
●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が落下するおそれがあります。



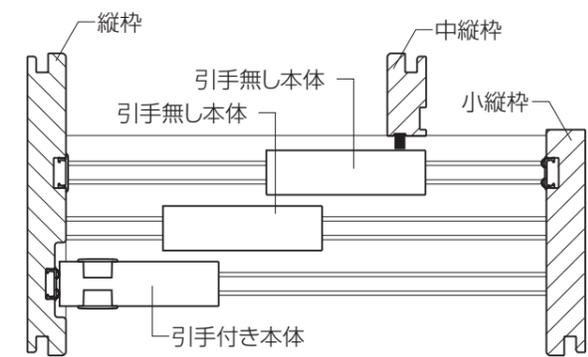
**お願い**

※片引戸3枚建本体には引手付き本体と引手無し本体があります。  
吊込み位置を確認してから枠に吊込んでください。

**■引手付き本体**  
※戸先側表裏に付きます。



**■片引戸3枚建(概略参考図)**

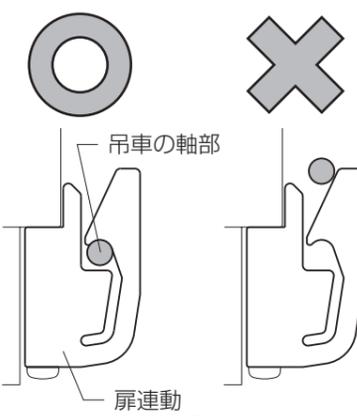
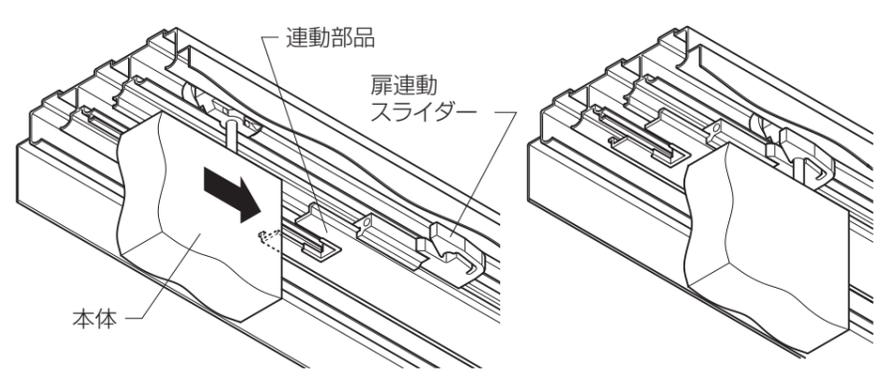


**■連動部品への取付け**

④本体を動かし、連動部品の扉連動スライダーに差込みます。

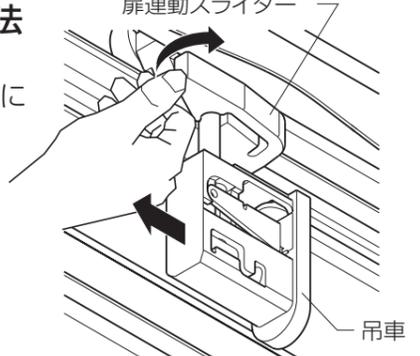
**お願い**

※扉連動スライダーに吊車の軸部が入っていることを確認してください。

**■連動部品からの取外し方法**

- ①本体から吊車を取外します。
- ②扉連動スライダーを指で外側に広げて吊車を引抜きます。

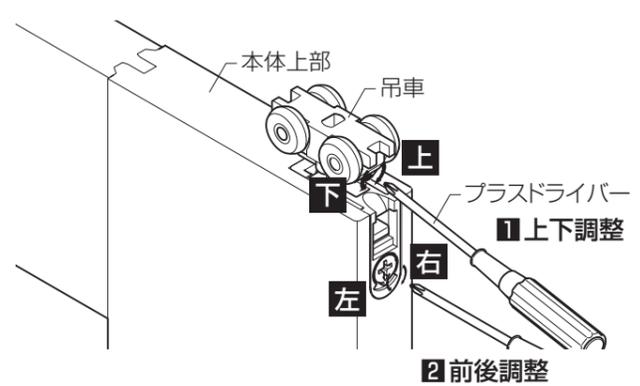


**■本体の建付け調整**

※本体の吊車には、上下方向および前後方向の調整機能が付いています。

**1 上下調整(調整幅+4mm、-1mm)**

- プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ※床面と本体下部とのチリ寸法は、12mmが標準です。
- ※本体を下げすぎるとガイドピボット先端部と本体が当たりますので、下げすぎないでください。
- ※本体を上げすぎると連動部品と本体が当たりますので、上げすぎないでください。

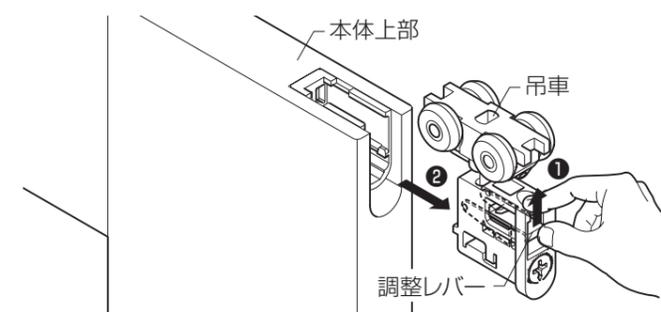


**2 前後調整(±2mm)**

- 前後調整は、プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。

**■本体の取外し方法**

- 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。

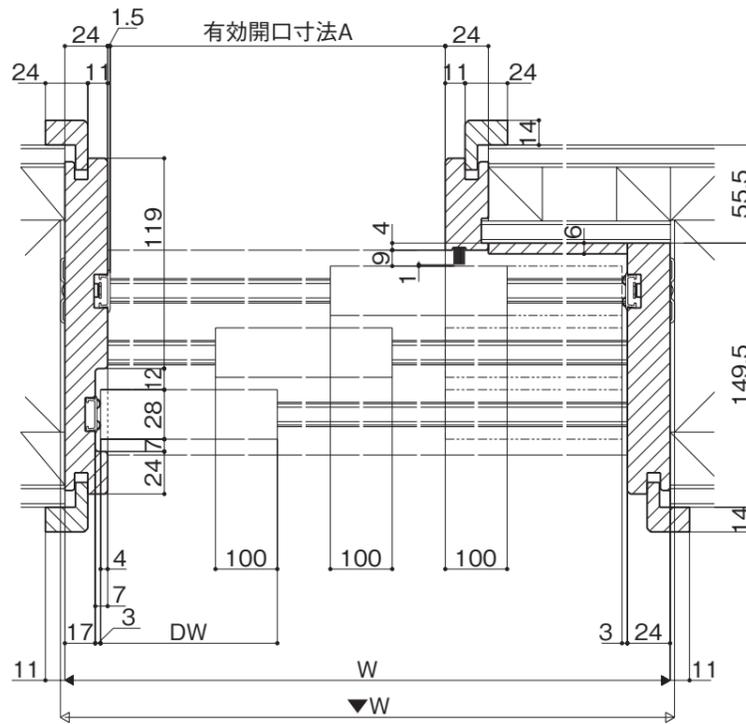
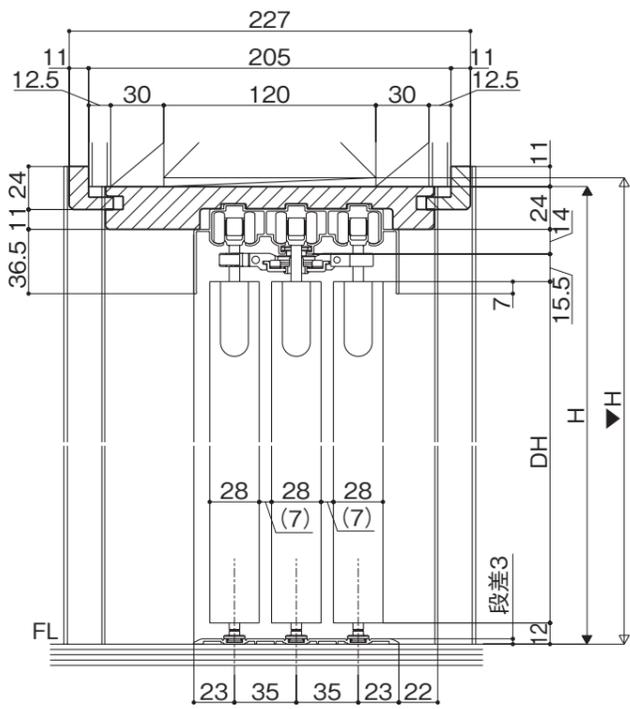


参考納まり図

可動間仕切り引戸連動方式 片引戸3枚建ユニット ケーシング付

●縦断面図

●横断面図



|              |     |      |
|--------------|-----|------|
| 基本寸法<br>(mm) | W呼称 | W32  |
|              | W   | 3247 |
|              | H呼称 | H23  |
|              | H   | 2306 |

|           |        |
|-----------|--------|
| W呼称(枠外寸法) | A寸法    |
| W32(3247) | 2319.5 |